

## 事例周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

災害の種類	労働災害:転落	工事区分	測量設計委託	
事故内容	法面状況を踏査中、斜面から滑落	被災者	性別・年齢	(男)60才
被災状況	胸骨骨折、縦隔出血、右頸部(首)血腫	職業	設計技師	

**[災害の概要]**

□現場の状況 :

道路法面の落石対策の設計のため、現地調査を行っていた。

□事故の概要 : 平成26年4月10日(木曜日) 午前11:00ころ

道路法面の落石対策の設計のため現地調査を行っていたところ、誤って3m下の道路面に滑落した。滑落時強打したことにより、胸骨骨折、縦隔出血が起きた。また右頸部に血腫が発生した。

□安全対策の有無 (有)ヘルメット着用

**[再発防止策]**

□問題点 : ①危険箇所(崖部)に立ち入ったこと、また注意喚起が不足していた。  
②作業用の命綱、安全帯を使用していなかった。

□防止対策 : ①作業開始前にミーティングを行い、作業内容、危険箇所について作業員間で共通認識を持たせる。危険箇所には、極力立ち入らない。

②やむを得ず危険箇所に立ち入る場合は、崖部の周辺では命綱、安全帯、はしご等を使用する。

**[事故の状況が分かる写真または図面]**



## 事例周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

【事故の状況が分かる写真または図面】

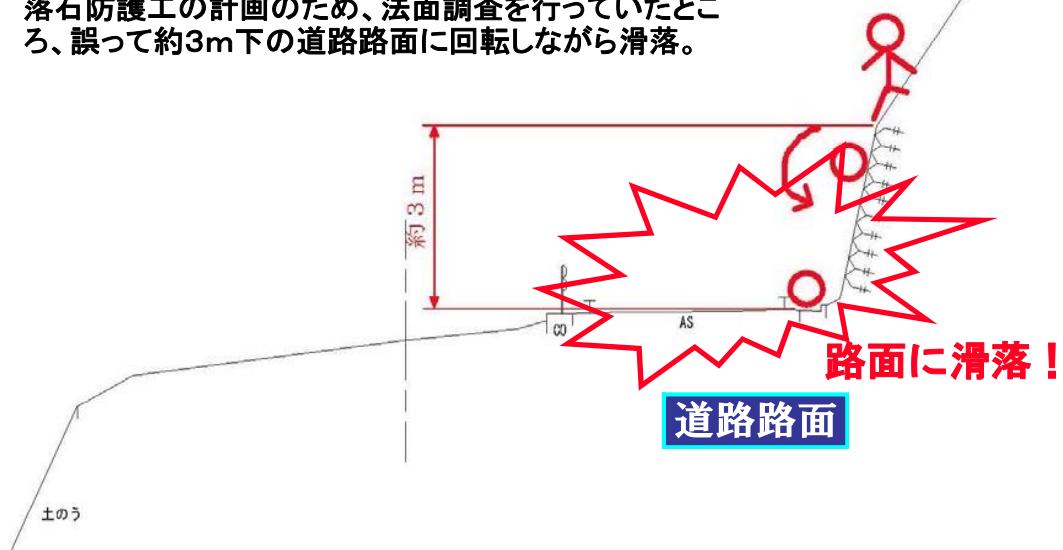
### 事故現場平面図(周智郡森町三倉地内)



### 滑落状況説明図

法面  
(落石防護工計画箇所)

落石防護工の計画のため、法面調査を行っていたところ、誤って約3m下の道路路面に回転しながら滑落。



災害の種類	労働災害：飛来・落下	工事区分	災害防除工事	
事故内容	落石による負傷	被災者	性別・年齢	男性 19歳
被災状況	頭蓋骨骨折・頸椎損傷	職業	普通作業員	

### [災害の概要]

□現場の状況：仮設工、伐採作業中

□事故の概要：平成26年6月4日（水曜日） 15:30頃

法面にて伐倒完了後の足元周りの枝葉を集積後道路上に配置してある16tクレーンにより、合図マンの指示で枝葉を吊上げ中、既設落石防止網を固定している縦ロープのアンカーが挿入されていた石ごと抜け落ち、次にアンカー傍らの石が落ち作業員3名の内1名が避けきれず頭部（ヘルメット）に当り転倒した。他の2名が駆け寄り被災者を見たところ頭部より出血しており、直ちに119番に連絡し救急車の要請を致しました。

□安全対策の有無： 有

### [再発防止策]

□事故発生の原因：

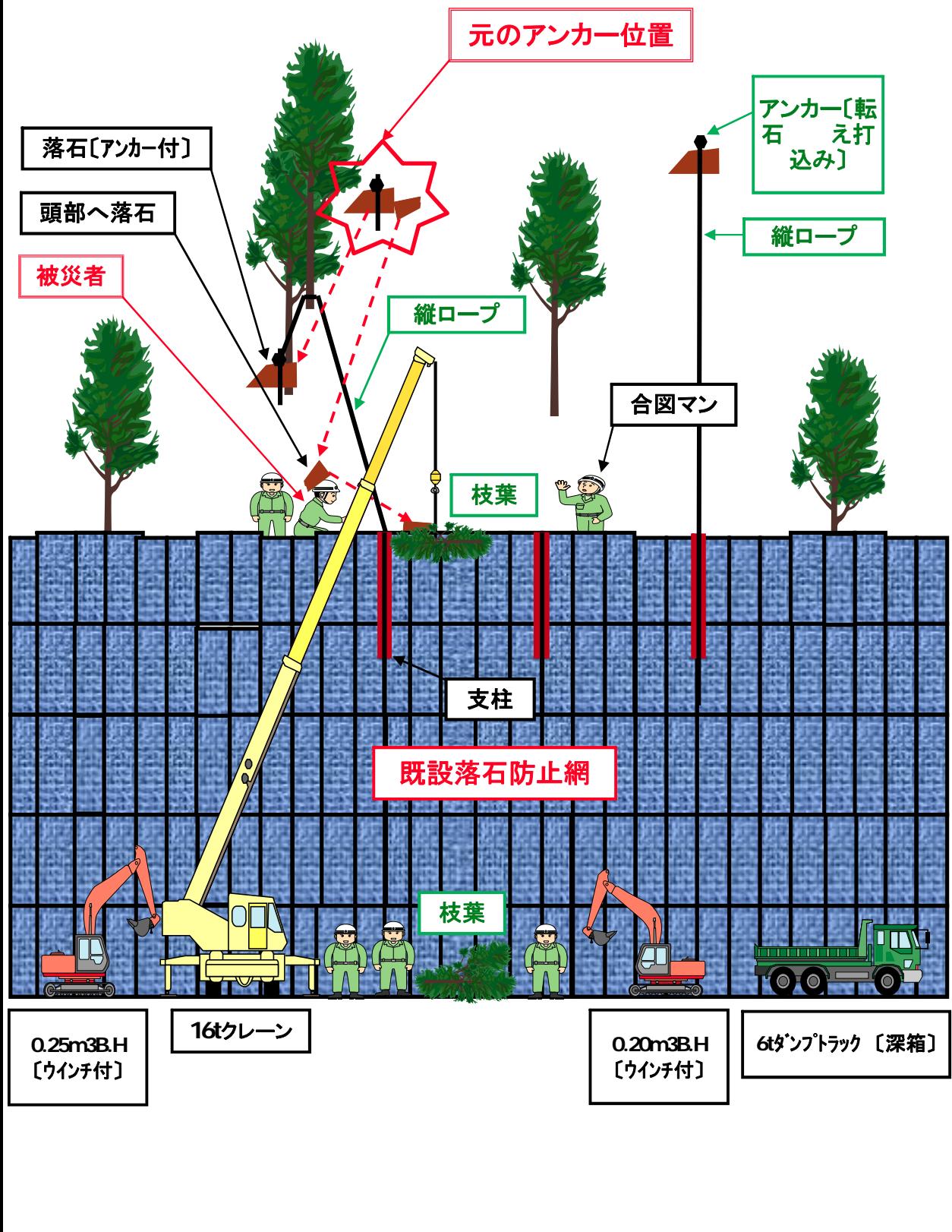
- ① 事前の施工周辺（施設等）の調査不足、危険に対する認識不足。
- ② 設置後30年以上経過している縦ロープのアンカー打込み石の風化（亀裂等）、周辺法面の浸食により石が浮石状態になっていた。
- ③ 小木の伐倒の際、縦ロープに触れて荷重（衝撃）が加わり、緩くなっていたアンカーが挿入されている石ごと抜けた。

□防 止 対 策：

- ① 再度、施工前の事前調査の徹底。
  - ・縦ロープの固定アンカーが打込まれている石が、ひび割れや浮石状態などとなって機能低下をしていないか確認、及び作業範囲内の転（浮）石の有無を再確認。
  - ・現地確認により知りえた情報は、作業員全員への周知を徹底する。
- ② 現場内の連携強化に対する対策。
  - ・作業員全員を対象に安全教育の再教育の実施、思い込み作業の危険性を再認識させる。
  - ・安全朝礼時の中で当該現場内の支障物件の位置確認を行う。
  - ・作業前打合せ時に、支障物件の周辺作業内容及び作業手順を共有する。
  - ・作業前打合せ時とは異なる事態が発生した場合は、その場で判断をさせずに現場代理人に直ちに報告することを徹底させる。
- ③ 具体的な対策案
  - ・作業範囲内の転（浮）石は伐採作業前に確認をした後、除去搬出。
  - ・倒木の際、支障となる既設縦ロープは一時撤去して、新設ロープを設置する。  
その際のアンカーは土中式アンカーを使用。
  - ・浸食が激しく転石状態になっていて撤去に危険が伴う箇所についてはモルタル吹付け等で対応。
- ④ 想定外の事項が発生した場合の対策。
  - ・作業にあたり想定外の事態や、作業に支障を来たす事態が発生した場合は、作業を中断し状況調査を行う。
  - ・状況調査により施工方法を変更する場合には、作業員に内容を周知徹底させる。

[事故の状況が分かる写真または図面]

・ 事故状況説明図 [正面図]



## 災害箇所[全景]



【B】転石[アッカー付]落石位置

